

<Press Release>

取扱注意
ラジオ・テレビ・インターネット・新聞
2月13日(火) 午前10時 解禁



公益財団法人愛知県文化振興事業団

中部芸術文化記者クラブ
名古屋音楽クラブ
名古屋映画演劇記者クラブ 同時発表

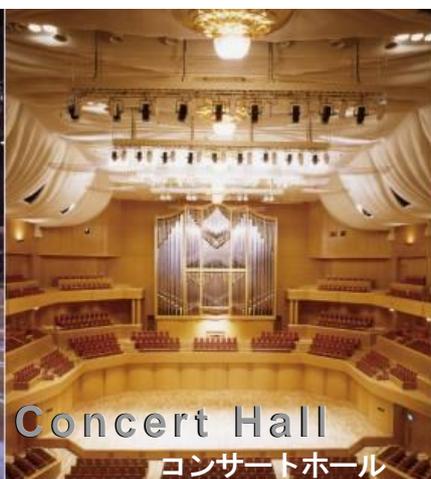
2018年2月7日(水)
愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ
林、小出、武石
電話 052-955-5506
FAX 052-971-5541

報道各位

2018年度 愛知県芸術劇場 自主事業 ラインナップ



Mini Theater
小ホール



Concert Hall
コンサートホール



Main Theater
大ホール

平素より愛知県芸術劇場の活動につきまして、ご理解・ご支援賜りありがとうございます。
さて、見出しのとおりプレスリリースを送付いたします。
ご多忙中恐縮ですが、ご一読の上、ご取材等いただければ幸いです。

【お問合せ】

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団) 広報・マーケティンググループ 林、小出、武石
〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 Tel 052-955-5506 Fax 052-971-5541
mkt@aaf.or.jp <http://www.aac.pref.aichi.jp/>

■ 2018年度愛知県芸術劇場 自主事業ラインナップに寄せて

2018年度も愛知県芸術劇場では、子どもから大人まで、県民の皆さまに楽しんでいただける多彩で充実した舞台を開催してまいります。

8月からの**ファミリー・プログラム**は、当劇場をはじめ県内各地で実施いたします。名古屋、豊川、碧南、小牧、稲沢、知立、幸田、計7つの市町の劇場と連携して海外カンパニーを招へいするほか、毎年人気のワークショップやバックステージツアーなど、ご家族でお越しいただけるプログラムを用意いたしました。



続いて、11月からの**愛知芸文フェス**では、小ホールオペラや栄北地区のアートのお祭りなどを、劇場内外で開催いたします。多彩な企画で新たな芸術ファンが増えることを切に願っております。

また、11月末に**リニューアルオープンするコンサートホール**では、オーバーホールを経たパイプオルガンの演奏やNHK交響楽団のコンサートなど、3月までに自主公演を6演目上演いたします。新しくなったコンサートホールで豊かな響きをご体感ください。

そして、1年を通して開催する**ミニセレ**では、先端的なダンス作品を紹介する「ダンス・セレクション」、音楽と身体を使った新たな表現の可能性に挑戦する「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2019」など、小ホールにおいて、先駆的・実験的な作品をお届けいたします。

さらに、**普及啓発事業**として「劇場と子ども7万人プロジェクト」や公演に関連したワークショップ、その他、**人材養成事業**として、全国で唯一の劇場が主催する戯曲賞「AAF戯曲賞」なども行ってまいります。

多くの県民の皆さまに、愛知県芸術劇場にお越しいただき、質の高い舞台芸術に触れていただければと思っています。

愛知県芸術劇場館長 丹羽 康雄

2018年度愛知県芸術劇場 自主事業ラインナップ



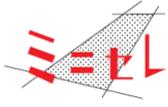
■ ファミリー・プログラム

日程	事業名	会場	概要および特徴
8. 4(土) 5(日)	『小さな島とエヴァ』	小ホール	小規模でクオリティの高いオーストラリアのカンパニーを夏休みに招へい。愛知県芸術劇場での公演後、県内の市町の劇場を巡回する。8.8~22県内ツアー(幸田、豊川、稲沢、碧南、小牧、知立、名古屋)
8. 5(日)	愛知県芸術劇場 ファミリー・プログラム連携公演 シアターサーカス『マシーン・ド・シルク』	小牧市 市民会館	不思議な楽器や舞台で魅せる男性4人のサーカス集団。シルク・ド・ソレイユで有名なカナダ(ケベック)出身の注目カンパニー。
8. 25(土)	愛知県芸術劇場 ファミリー・プログラム連携公演 日生劇場ファミリーフェスティバル2018 物語付きコンサート『アラジンと魔法のランプ』	春日井 市民会館	「アラジンと魔法のランプ」の冒険を観ながら、クラシック音楽を楽しく学べるコンサート。家族で劇場体験への第一歩を踏み出すのに最適な公演。
8. 1(水)	げきじょうたんけんツアー	小ホール	普段は見るできない劇場の裏側を探検できるツアー。リニューアル後の小ホールで初実施。夏休みの自由研究に役立つ知識が満載の体験学習。
8月	子ども向けワークショップ	小ホール	演劇やダンスの世界において、全国で活躍するアーティストを講師に迎え、舞台芸術を通して、表現することや自由に発想することを学べる体験型の講座。



■ 愛知芸文フェス

日程	事業名	会場	概要および特徴
11. 2(金) 3(土・祝)	イスラエル・ガルバン 『黄金時代』	名古屋市 芸術創造 センター	あいちトリエンナーレ2016で来日し、賞賛を浴びたコンテンポラリー・フラメンコの最高峰イスラエル・ガルバン。代表作『黄金時代』(2005年初演)を上演。
11. 2(金) 3(土・祝) 4(日)	栄北連携事業(まちなか展開)	オアシス21 ほか	栄北地区で様々なアートに出会えるお祭り。愛知芸術文化センターを飛び出し、愛知県芸術劇場とまちなかが、ダンスや音楽を通してつながる3日間。
11. 2(金) 3(土・祝) 4(日)	ストミック 新作公演ツアー	小ホール	第16回AAF戯曲賞で大賞を受賞した額田大志が率いる劇団ストミックの新作公演。
11. 3(土・祝)	東京塩麴 単独ライブ	小ホール	第16回AAF戯曲賞で大賞を受賞した額田大志が率いるミニマル・ミュージックバンドの単独ライブ公演。
11. 16(金) 17(土)	モーツァルト作曲 オペラ 『バステアンとバステイエンヌ』	小ホール	モーツァルトが12才で作曲したオペラ。指揮は、近年活躍が著しい名古屋出身の角田鋼亮。出演は、三重県出身のソプラノ歌手伊藤晴などの新進気鋭の若手たち。ドイツ語上演・字幕付き。
11. 30(金)	愛知県立芸術大学管弦楽団 第29回定期演奏会	コンサート ホール	東海地方唯一の公立芸術大学管弦楽団による、1990年から続く演奏会。指揮は尾高忠明。曲目は、モーツァルトの交響曲第39番、R.シュトラウスの『英雄の生涯』。
12. 1(土) 2(日)	第17回AAF戯曲賞受賞記念公演 『シティⅢ』	小ホール	上演を前提とした戯曲賞の舞台化。戯曲は、第17回大賞に選考されたカゲヤマ気象台のシティシリーズ最終章「シティⅢ」。文明が一度荒廃した後に再興した、56億年後の未来を描く。
12. 15(土) 16(日)	Opto 『optofile_touch』	小ホール	ネザーランド・ダンス・シアターを経て、海外で活動する舞踊家・渡辺レイ、小尻健太、湯浅永麻らが立ち上げた、ダンスグループOpto(オプト)による初めての愛知公演。
12. 21(金) 22(土)	クリスマスはオルガンだ! 2018	コンサート ホール	オーバーホールを経てリフレッシュしたオルガンの響きとともに、演奏をスクリーンに映し出すなど、耳でも目でも楽しめるコンサート。



■ ミニセレ - Mini Theater Selection -

日程	事業名	会場	概要および特徴
4. 7(土) 8(日)	アンサンブル・ゾネ 『緑のテーブル2017』	小ホール	「反戦バレエ」と呼ばれた、現代バレエの古典「緑のテーブル」。この名作からインスピレーションを得た岡登志子の振付によって、2017年に日本で創作された作品。関連ワークショップも開催。
6. 23(土) 24(日)	島地保武×環ROY『ありか』	小ホール	当劇場が2016年に企画・製作した、ダンスとラップのコラボレーション作品。全国10余公演を経て、愛知に凱旋。一般公演の他、中学生招待公演も実施。
7. 13(金) 14(土) 15(日)	地点 『忘れる日本人』	小ホール	第15回AAF戯曲賞大賞に選出された松原俊太郎の書き下ろし長編。2017年にKAAT神奈川芸術劇場で上演された話題作。
10. 6(土) 8(月・祝)	ダンス・セレクション	小ホール	新進気鋭のアーティストによる先端的なダンス作品を多数紹介するショーケース型の公演。6つの小作品を2日間にわたり一挙上演。
11. 2(金) 3(土・祝) 4(日)	【再掲】ストミック 新作公演ツアー	小ホール	第16回AAF戯曲賞で大賞を受賞した額田大志が率いる劇団ストミックの新作公演。
11. 3(土・祝)	【再掲】東京塩麴 単独ライブ	小ホール	第16回AAF戯曲賞で大賞を受賞した額田大志が率いるミニマル・ミュージックバンドの単独ライブ公演。
12. 1(土) 2(日)	【再掲】第17回AAF戯曲賞受賞記念公演 『シティⅢ』	小ホール	上演を前提とした戯曲賞の舞台化。戯曲は、第17回大賞に選考されたカゲヤマ気象台のシティシリーズ最終章「シティⅢ」。文明が一度荒廃した後に再興した、56億年後の未来を描く。
12. 15(土) 16(日)	【再掲】Opto 『optofile_touch』	小ホール	ネザールランド・ダンス・シアターを経て、海外で活動する舞踊家・渡辺レイ、小尻健太、湯浅永麻らが立ち上げた、ダンスグループOpto(オプト)による初めての愛知公演。
2019. 1. 12(土) 13(日)	Organ Works 『聖獣～Live with a sun～』	小ホール	2016年トヨタ コレオグラフィアワードにて「次代を担う振付家賞」と「オーディエンス賞」をダブル受賞した、平原慎太郎が率いるダンスカンパニーの新作公演。
2. 9(土) 11(月・祝)	サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2019	小ホール	音楽と身体を使った新たなパフォーマンスの可能性を探る公演。国内外で活躍するゲストアーティストと公募によって選ばれたアーティストが、既存の枠に捉われないパフォーマンスを繰り広げる。
3. 9(土) 10(日)	音から作る映画のパフォーマンス上映 『サロメの娘／アコースモニウム』	小ホール	録音・録画したメディアから映画やライブ・パフォーマンスなどの作品を生み出す映画監督・七里圭。20台以上のスピーカーを駆使した立体音響システム「アコースモニウム」による演奏が小ホールに響き渡る。愛知初上演。

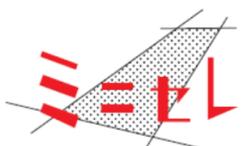
■ ラインナップの特徴について



夏休みを中心に開催する、家族のためのフェスティバル。家族で楽しめる催しが充実しているため、劇場初心者の方でも安心。公演のほか、子ども向けの劇場ツアーやワークショップも開催します。



愛知芸術文化センターがオープンした10月30日前後を、祝祭期間としました。目も耳も肥えた芸術ファンをうならせる公演が盛りだくさん！上質なアートに触れたい方におすすめです。



ミニセレの「ミニ」は、ミニシアター(小ホール)のこと。小ホールで開催する、先駆的・実験的なプログラム群の総称です。愛知の皆さんにぜひ観ていただきたい、同時代の作品を厳選しています。

■ コンサートホール リニューアル後の公演

日程	事業名	会場	概要および特徴
11.30(金)	【再掲】愛知県立芸術大学管弦楽団 第29回定期演奏会	コンサート ホール	東海地方唯一の公立芸術大学管弦楽団による、1990年から続く演奏会。指揮は尾高忠明。曲目は、モーツァルトの交響曲第39番、R.シュトラウスの『英雄の生涯』。
12.21(金) 22(土)	【再掲】クリスマスはオルガンだ！2018	コンサート ホール	オーバーホールを経てリフレッシュしたオルガンの響きとともに、演奏をスクリーンに映し出すなど、耳でも目でも楽しめるコンサート。
2019. 2.8(金)	バレンタイン・オルガンコンサート ～ダニエル・ザレツキー	コンサート ホール	ロシアのサンクトペテルブルク音楽院でオルガンの学部長として教鞭をとる世界的オルガニストを招へい。ロシアをはじめ世界のコンクールに入賞した生徒を数多く輩出する実力派の演奏をお届け。
2.24(日)	NHK交響楽団定期演奏会 (愛知県芸術劇場シリーズ)	コンサート ホール	サントリーホールで開催される定期公演を愛知に招へい。首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィが4年ぶりに愛知に登場。『春の祭典』などを演奏するストラヴィンスキー・プログラム。楽員による公開レッスンも秋に開催。
3.2(土)	声明公演	コンサート ホール	東日本大震災の鎮魂歌として作られた新作声明「海霧讃歎」を、日本最古の声明曲「四箇法要」に織り交ぜて開催。
3.17(日)	ダンスコンサート	コンサート ホール	コンサートホールにて、ライブ音楽とダンスを同時に楽しめる企画。パリ・オペラ座のエトワールほか、トップアーティストたちが共演。

■ 劇場と子ども7万人プロジェクト(普及啓発事業)

日程	事業名	会場	概要および特徴
《7万人プロジェクト》 6.13(水)～15(金) 《ツアー公演》 6.16(土)	愛知県芸術劇場・SPACー静岡県舞台芸術センター 共同企画『寿歌』 ＜劇場と子ども7万人プロジェクト＞	パティオ 池鯉鮒(知 立市文化 会館)	静岡県と愛知県の劇場による共同企画作品。名古屋在住の北村想の名作を、静岡県舞台芸術センター芸術総監督の宮城聡が演出。一般公演の他、小中学生の学校招待公演を実施。本公演を含め、全国6か所の公立ホールで開催。
《7万人プロジェクト》 6.21(木)、22(金) 《ツアー公演》 6.23(土)		小牧市 市民会館	
《7万人プロジェクト》 6.26(火)～29(金)	島地保武×環ROY『ありか』 ＜劇場と子ども7万人プロジェクト＞ 愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室2018	小ホール	当劇場が2016年に企画・制作した、ダンスとラップのコラボレーション作品。全国10余公演を経て、愛知に凱旋。中学生招待公演を実施。

＜劇場と子ども7万人プロジェクト＞とは…

愛知県内には、小・中学生が一学年あたり約7万人います。愛知県芸術劇場では、2015年度から地域の将来を担う子どもたちを劇場に招待し、質の高い舞台芸術に触れてもらうことによって、子どもの文化芸術体験の充実を図る「劇場と子ども7万人プロジェクト」を、県内の市町村劇場と連携しながら進めています。

■ 人材養成事業

日程	事業名	会場	概要および特徴
6月～12月	第18回AAF戯曲賞募集・選考	その他	全国で唯一の「劇場が主催する戯曲賞」。上演を前提としているのも特徴。6月から作品の募集を開始。一次、二次審査を経て最終審査は12月に一般公開で行う。大賞受賞作品は次年度に上演。
通年	アーティスト人材養成事業	その他	オルガニストをはじめ、地域における文化・芸術活動を担う人材を養成するため、ワークショップや講座等を開催。
通年	舞台芸術人材養成ラボ	その他	学生やアーティスト、劇場職員など、それぞれの立場やゴールに合わせた人材養成プログラムを開催。地域全体で芸術文化を支える環境をつくりだす。

EVENT SCHEDULE 2018

愛知県芸術劇場 自主事業 2018.4~2019.3

4 アンサンブル・ゾネ
小ホール 『緑のテーブル2017』
7日 19:00 8日 14:00
振付：岡登志子
チケット発売日：2月9日(金)
料金：一般 3,000円 U25 2,000円
ペア(1組) 5,000円



©吉井秀文

6 愛知県芸術劇場・SPAC・静岡県舞台芸術センター 共同企画
『寿歌』
パティオ池畔 16日 19:00
小牧市市民会館 23日 14:00
作：北村想 演出：宮城聡 ©新良大



<劇場と子ども7万人プロジェクト>学校招待公演 ※詳細は右下をご覧ください。
13日 19:00 15日 14:00 21日 19:00 22日 14:00
4.28~6.8全国ツアーあり(静岡、熊本、福岡、茨城公演)。

島地保武×環ROY
小ホール 『ありか』
23日 19:30 24日 14:30
チケット発売日：3月23日(金)
料金：一般 3,000円 U25 1,000円



©羽島直志

<劇場と子ども7万人プロジェクト>
愛知県芸術劇場
舞台芸術鑑賞教室2018
※詳細は右下をご覧ください。
26日 19:00 29日 14:00

7 地点
小ホール 『忘れる日本人』
13日 19:00 14日 14:00 15日 19:00
作：松原俊太郎 演出：三浦基
料金：一般前売 3,500円 U25 2,000円



初演：KAAT神奈川芸術劇場(2017) ©松本久木

8 小ホール 『小さな島とエヴァ』
4日 14:00, 18:00 5日 11:00, 14:00
製作：テラッピン・パペットシアター
作：フィニーガン・クラックメイヤー
演出：サム・ラウトレッジ
チケット発売日：6月15日(金)
料金：大人 2,000円 中学生以下 700円
8/8~22県内ツアーあり(幸田・豊川・稲沢・碧南・小牧・知立公演ほか)。詳細は、各会場へお問い合わせください。



愛知県芸術劇場 ファミリー・プログラム連携公演
小牧市市民会館 シアターサーカス『マシーン・ド・シルク』
5日 14:00
料金：一般 3,000円 U25 1,000円
お問合せ：(一財)こまき市民文化財団 0568-71-9700



愛知県芸術劇場 ファミリー・プログラム連携公演
春日井市民会館 日生劇場ファミリーフェスティバル
2018 物語付きコンサート
『アラジンと魔法のランプ』
25日 11:00, 15:00
チケット発売日：6月16日(土)
料金：大人 3,000円 中学生以下 1,500円
お問合せ：(公財)かすが市民文化財団 0568-85-6868



日生劇場ファミリーフェスティバル2017より ©三枝近志

愛知県芸術劇場 ファミリー・プログラム
体験・ワークショップ
※詳細は今後ウェブサイト等でお知らせします。



©とりやま けい

10 小ホール ダンス・セレクション
6日 14:00 8日 14:00
チケット発売日：7月頃
料金：一般 2,500円 U25 1,000円



11 愛知県芸術フェス
名古屋芸術創造センター
イスラエル・ガルバン 『黄金時代』
2日 19:00 3日 15:00
ダンス：イスラエル・ガルバン
ギター：アルフレド・ラゴス
カンテ：ダビ・ラゴス
チケット発売日：7月13日(金)
料金：一般 7,000円 U25 3,500円



©Felix Vazquez

オアシス21
4日 15:00
イスラエル・ガルバン
公開ワークショップ
※詳細は今後ウェブサイト等でお知らせします。

ストミック
小ホール 新作公演ツアー
2日 19:00 3日 14:00 4日 19:00
作・演出：額田大志
チケット発売日：9月上旬
料金：一般 3,000円 U25 1,000円



『Saturday Balloon』(2017) ©takaramahaya

東京塩麹
小ホール 単独ライブ
3日 19:00
チケット発売日：9月上旬
料金：一般 3,000円 U25 1,000円
※「ストミック新作公演ツアー」と「東京塩麹単独ライブ」とのセット券あり。



©Rakutaro Ogiwara

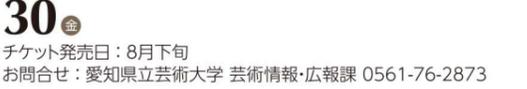
オアシス21ほか 栄北連携事業(まちなか展開)
2日 19:00 3日 14:00 4日 19:00

モーツァルト作曲 オペラ
小ホール 『バステイアンとバステイエンヌ』
16日 19:00 17日 14:00, 18:00
指揮：角田鋼亮 演出：太田麻衣子
出演：伊藤晴(ソプラノ)、中井亮一(テノール)、田中大揮(バス・バリトン) ほか
管弦楽：愛知室内オーケストラ
チケット発売日：7月20日(金) 料金：一般 6,000円 U25 3,000円



角田鋼亮 ©武藤章 伊藤晴 ©Katsuhiko Kimura 中井亮一

愛知県立芸術大学管弦楽団
コンサートホール 第29回定期演奏会
30日 19:00
チケット発売日：8月下旬
お問合せ：愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 0561-76-2873



12 小ホール 第17回AAF戯曲賞受賞記念公演
『シティⅢ』
1日 19:00 2日 14:00
作：カゲヤマ気象台
チケット発売日：9月14日(金)
料金：一般 3,000円 U25 1,000円



第18回AAF戯曲賞 6月応募受付開始

第16回AAF戯曲賞受賞記念公演「それからの街」より ©松原 豊

Opto
小ホール 『optofile_touch』
15日 14:00 16日 14:00
出演：渡辺レイ、小尻健太、湯浅永麻 ほか
チケット発売日：9月14日(金)
料金：一般前売 4,500円 U25 3,000円



12 コンサートホール クリスマスはオルガンだ!2018
21日 19:00 22日 14:00
チケット発売日：9月22日(土)
料金：一般 2,000円 U25 1,000円



『クリスマスはオルガンだ!2016』より ©中川幸作

1 小ホール OrganWorks
『聖獣~live with a sun~』
12日 18:00 13日 14:00
振付・出演：平原慎太郎
チケット発売日：10月12日(金)
料金：一般 4,000円 U25 2,500円 高校生以下 1,500円



©加藤 博

2 コンサートホール バレンタイン・オルガンコンサート
〜ダニエル・ザレツキー
8日 19:00
出演：ダニエル・ザレツキー
チケット発売日：9月22日(土)
料金：一般 3,000円 ペア(1組) 3,000円 U25 1,500円



サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2019
小ホール 9日 19:00 11日 14:00
公券アーティスト 8月応募受付開始



『サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2016』より ©羽島直志

NHK交響楽団定期演奏会
コンサートホール (愛知県芸術劇場シリーズ)
24日 15:00
指揮：パーヴォ・ヤルヴィ 管弦楽：NHK交響楽団
曲目：ストラヴィンスキー・プログラム
葬送の歌/幻想的スケルツォ/ロシア風スケルツォ/交響的幻想曲「花火」/バレエ音楽「春の祭典」
チケット発売日：9月29日(土)
料金：S席 10,000円 プレミアムシート 13,000円 ほか
※N響楽員による公開レッスン開催予定



©Julia Bayer ©中川幸作

3 コンサートホール 聲明公演
2日 15:00
チケット発売日：10月20日(土)
料金：S席 6,000円 (U25 3,000円) A席 4,800円 (U25 2,400円)



©青柳 聡

音から作る映画のパフォーマンス上映
小ホール 『サロメの娘/アグースモニウム』
9日 19:00 10日 14:00
映像・演出：七里 圭
チケット発売日：12月14日(金)
料金：一般前売 2,500円 U25 1,500円



©Champion

コンサートホール ダンスコンサート
17日 15:00
パリ・オペラ座のダンサーと音楽家による共演
チケット発売日：10月27日(土)
料金：S席 8,000円 (U25 4,000円) A席 6,000円 (U25 3,000円) B席 4,000円 (U25 2,000円) プレミアムシート 12,000円



ダンスコンサート「月夜に唄くエトワール」より ©羽島直志

- ダンス
- 音楽
- 演劇
- オペラ

各情報は、都合により変更する場合があります。
お子さまは年齢等により、入場できない公演があります。
詳細はウェブサイト、チラシ等で最新情報をご確認ください。
U25は、公演日に25歳以下の方が対象です(要証明書)。



夏休みを中心に開催する、家族のためのフェスティバル。家族で楽しめる催しが充実しているため、劇場初心者の方でも安心。公演のほか、子ども向けの劇場ツアーやワークショップも開催します。



愛知芸術文化センターがオープンした10月30日前後を、祝祭期間としました。目も耳も肥えた芸術ファンをうならせる公演が盛りだくさん!上質なアートに触れたい方におすすめです。



ミニセレの「ミニ」は、ミニシアター(小ホール)のこと。小ホールで開催する、先駆的・実験的なプログラム群の総称です。愛知の皆さんにぜひ観ていただきたい、同時代の作品を厳選しています。

劇場と子ども7万人プロジェクト

愛知県内には、小・中学生が一学年あたり約7万人います。
愛知県芸術劇場では、2015年度から、地域の将来を担う子どもたちを劇場に招待し、質の高い舞台芸術に触れてもらうことによって、子どもの文化芸術体験の充実を図る「劇場と子ども7万人プロジェクト」を、県内の市町村劇場と連携しながら進めています。
愛知県芸術劇場 オペラ鑑賞教室2017より ©中川幸作

